



取扱説明書

IPS LEDモニター

(LEDモニター*)

*LGの液晶モニターはLEDバックライトを採用したLCD製品です。

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

32HL512D

www.lg.com

Copyright © 2020 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

目次

お手入れについて.....	3
ライセンス	4
オープンソースソフトウェア通知情報	4
組み立てと準備	5
モニターの接続.....	19
ユーザー設定.....	21
トラブルシューティング	34
製品仕様	37

適切な使用と機器の安全のため、この情報を参照してください。以下の記号は危険な状況を示しています。もし警告に従わない場合、深刻なけが、ユーザーや他者の死亡、または機器への損傷が発生する恐れがあります。

警告

- 警告と安全上の注意を示します。従わない場合、ユーザーや他者が死亡または重傷を負うおそれがあります。

注意

- 危険な状況を示しています。従わない場合、ユーザーや他者が軽傷や中程度のけがを負ったり、機器への損傷が発生したりする恐れがあります。

お手入れについて

推奨洗剤

- イソプロパノール70 %
- エタノール70 %
- 濃度0.9 %の塩水

洗剤の使い方

- お手入れする前に、モニターの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外してください。
- 柔らかい布を推奨洗剤に浸し、画面を軽く拭きます。1N(ニュートン)以上の力を加えないでください。
- お手入れ中にモニター内に洗剤が混入すると、重大な損傷を引き起こす可能性があります。
- 画面は傷つきやすいので、液晶パネルをお手入れしてください。
- シンナー、ベンゼン、酸性/アルカリ性腐食性科学洗剤などの溶剤は使用しないでください。
- 本製品のお手入れは、医療従事者(医師または看護師)以外には行わないでください。患者には触らせないでください。

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.comを参照してください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

“DICOM®は、医療情報のデジタル通信に関連する規格出版物に対するNational Electrical Manufacturers Associationの登録商標です。”

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPL及び、その他のオープンソースライセンスで開発されたソースコードの入手は<http://opensource.lge.com/>のWebサイトをご覧ください。ソースコードと共に、該当するすべてのライセンスの内容、保証免責の内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社はおお客様のご負担（メディア代、送料や手数料など）にてCD-ROMでオープンソースコードを提供しています。Eメールにて次のアドレスへCD-ROMをお申し込みください：opensource@lge.com。このお申し込みは、LG Electronicsにて本製品を販売後3年にかぎり有効となっておりますのでご注意ください。本サービスは、本情報を受け取られた方どなたでもご利用いただけます。

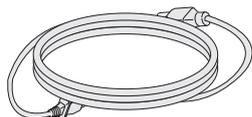
組み立てと準備

同梱品

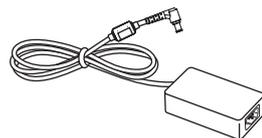
製品を使用する前に、すべての付属品が揃っているか確認してください。万が一、付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。本取扱説明書は日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。



CD (取扱説明書/ソフトウェア/
規制マニュアル) / カード



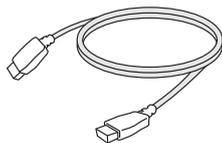
電源コード



AC/DCアダプター



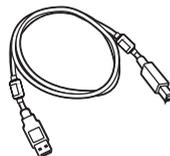
ケーブルホルダー



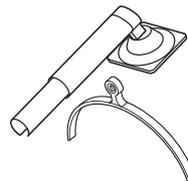
HDMIケーブル



DisplayPortケーブル



USB 2.0コネクタ



スタンドネック / スタン
ドベース

⚠ 注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 非正規の付属品の使用による破損や負傷は、保証の対象外になります。
- 付属の部品を使用することをお勧めします。
- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が写らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。

✔ ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。
- 付属品以外の部品のお求めは、本製品を購入した販売店またはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- 付属の電源コードは、地域によって異なります。

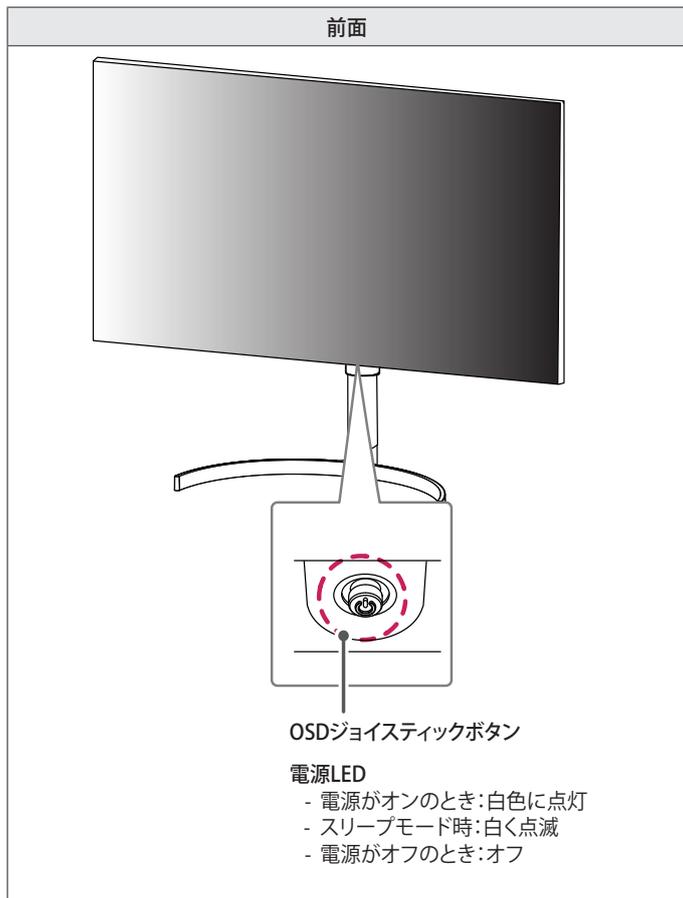
サポート対象ソフトウェア

お使いの製品がサポートしているドライバーとソフトウェアをご確認のうえ、製品パッケージに同梱のCDの取扱説明書を参照してください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位
PerfectLum	推奨
On Screen Control	オプション
Dual Controller	オプション

- [PerfectLum シリアルナンバー] は、[全般] > [表示情報] にあります。
- PerfectLum は、ハードウェアキャリブレーションを使用して、モニターのカラー出力をキャリブレーションします。このプログラムは USB 通信をサポートしているため、USB ケーブルを使用して PC とモニターを接続し、PerfectLum プログラムを起動します。
- 必須/推奨：同梱のCDまたはLGEのWebサイト (www.lg.com) から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。
- オプション：LGEのWebサイト (www.lg.com) から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。

製品とボタンの説明



OSDジョイスティックボタンの使用方法

OSDジョイスティックボタンを指で押したり、上下左右に動かすことでモニターの各種機能を簡単に操作できます。

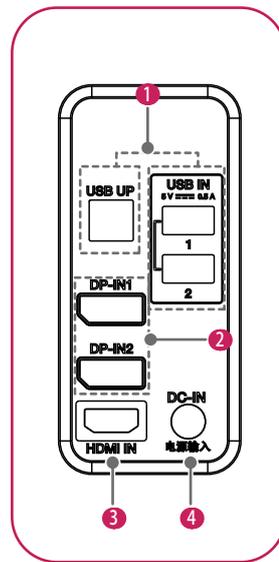
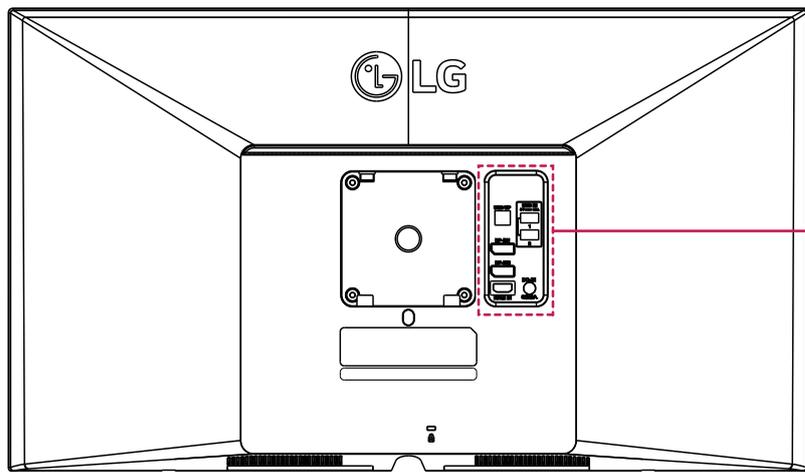
		電源オン	OSDジョイスティックボタンを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		電源オフ	OSDジョイスティックボタンを5秒以上指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。

✔ ヒント

- OSDジョイスティックボタンはモニターの底面に付いています。

コネクター

戻る



<p>①</p>	<p>USB IN 5V \equiv 0.5 A / USB UP</p> <ul style="list-style-type: none"> • HWキャリブレーター (オプションの付属品) 接続に使用。 • 周辺機器をUSB入力端子に接続します。 • キーボード、マウス、USBストレージデバイスを接続できます。 • USB 2.0を使用する場合は、A-BタイプのUSB 2.0ケーブルをPCに接続します。 <p>⚠ 注意</p> <p>USBストレージデバイス使用時の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動認識プログラムを搭載しているUSBストレージデバイスや、独自のドライバーを使用するUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。 • 一部のUSBストレージデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。 • 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USBデバイスが検出されないことがあります。)
<p>②</p>	<p>DP-IN1/DP-IN2</p> <ul style="list-style-type: none"> • デジタル映像信号を受信・発信します。 • PCのDisplayPortバージョンによっては、映像が出力されないことがあります。 • ミニ DisplayPort - DisplayPort ケーブルを使用する場合には、DisplayPort 1.2仕様のケーブルの使用が推奨されます。
<p>③</p>	<p>HDMI IN</p> <ul style="list-style-type: none"> • デジタル映像信号を入力します。 • HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。 • HDMIロゴが表示された認定ケーブルを使用してください。認定ケーブル以外を使用すると、画面が表示されなかったり、接続エラーが発生する場合があります。 • 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します <ul style="list-style-type: none"> - ハイスピードHDMI[®]/TM ケーブル - ハイスピードHDMI[®]/TM イーサネットケーブル

<p>④</p>	<p>DC-IN</p> <ul style="list-style-type: none"> • AC/DCアダプターを接続します。 • 付属アダプターの出力は19Vです。
----------	--

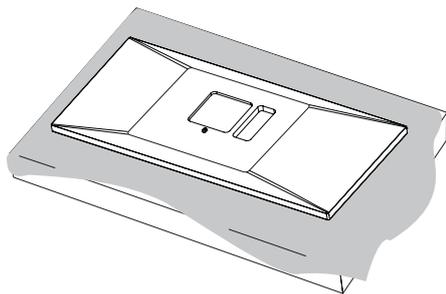
✔ **ヒント**

- このモニターは* Plug and Play機能をサポートします。

* Plug and Play: 設定や操作を行わずに、コンピューターに機器を追加できる機能です。

スタンドベースの取り付け

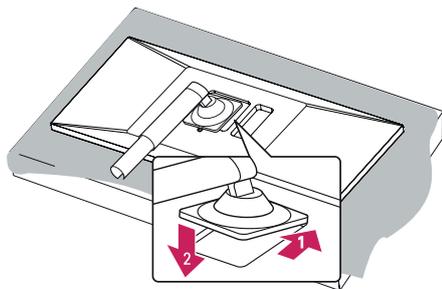
1



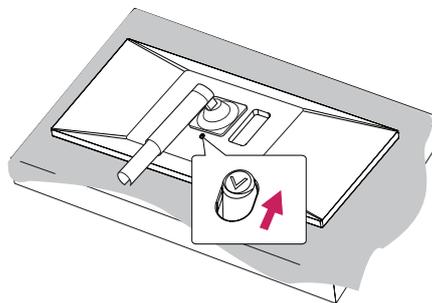
⚠ 注意

- 画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いて作業してください。

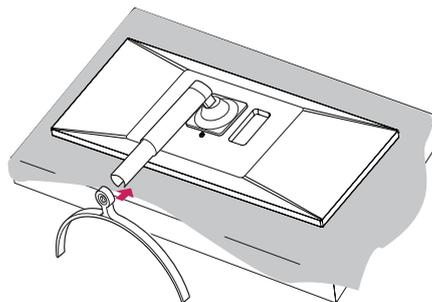
2



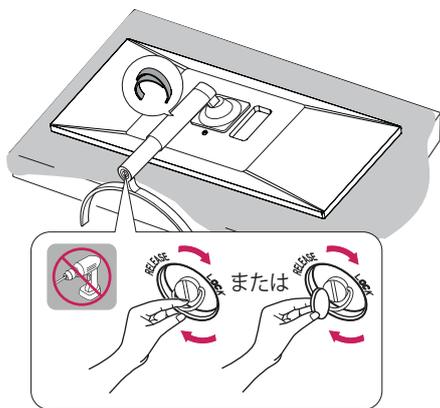
3



4



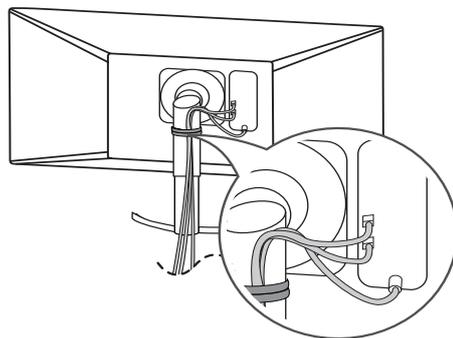
5



6



7



⚠ 注意

- 本書のイラストは一般的な手順を図解したものであり、実際の製品とは外観が異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。(製品が故障する可能性があります。)
- ネジを留める際、過度な力で締めるとモニターが破損するおそれがあります。過剰なネジの締め付けによる破損は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの画面に触れないでください。モニター画面に力を加えると、画面が破損するおそれがあります。

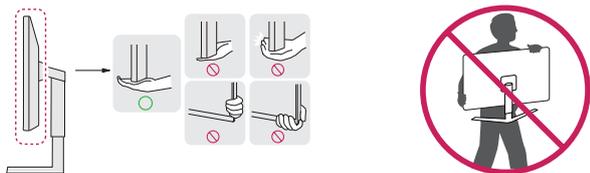
✔ ヒント

- スタンドの分解は、組み立ての作業を逆順にさかのぼって行います。

モニターの持ち運び

モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や負傷しないよう安全に運搬できるように、以下の指示に従ってください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材に再梱包してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかりと持ちます。パネル自体はつかまないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、液晶パネル(画面)に触れないようモニターの背面を持って、画面に傷を付けないようにしてください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターに強い衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

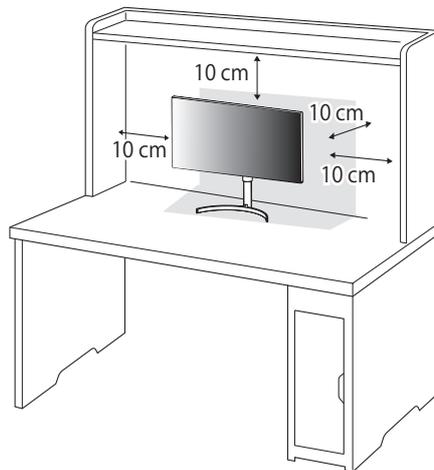


⚠ 注意

- 液晶パネル(モニターの画面)には触れないでください。
- 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。
- モニターの底面にOSDジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターの転倒によって、モニターの破損や負傷の原因になります。また、OSDジョイスティックボタンが故障する原因になります。

テーブルへの設置

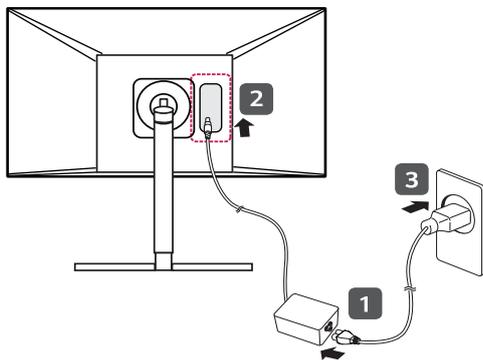
- モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルの上に置きます。十分な通気性を確保するため、背後および周囲10 cm以上の空間を空けて設置してください。



⚠ 注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 電源は、AC100V (50/60 Hz)のコンセントを使用して下さい。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- 製品付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

電源コード接続上の注意

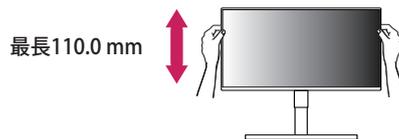


⚠ 注意

- 必ず製品パッケージ付属の電源コードを使用してください。コードをアース付きコンセントに接続してください。
- 製品付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

スタンドの高さの調整

- 1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)



⚠ 警告

- 画面の高さを調整するときに、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

角度の調整

- 1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 画面の角度を調整します。

✔ ヒント

- 画面を前後 (-5度から+20度) に調整して、見やすい角度にします。

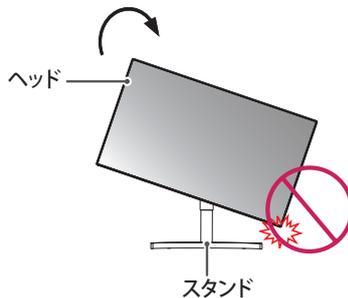
⚠ 警告

- 画面を調整するときは、下のイラストのようにモニターのフレームの下部をつかまないでください。指をはさむおそれがあります。
- モニターの傾きを調整するときに、液晶パネルに触れたり、押したりしないように注意してください。



ピボット機能

ピボット機能により、モニターを時計回りまたは反時計回りに90度回転できません。



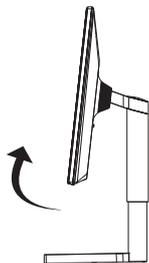
⚠ 警告

- ピボット機能を使用してモニターを回転する場合は、スタンドベースに傷が付くのを防ぐため、スタンドがモニターに接触しないようにしてください。

1 モニターの高さを最大限にします。



2 図に示したように、矢印の方向にモニターの角度を調整します。



3 モニターを図の通りに、時計回りまたは反時計回りに回転させます。



4 下のようモニターを90度回転させて完了です。

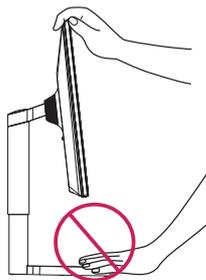


✔ ヒント

- オートピボット機能はサポートされていません。
- Windowsオペレーティングシステムには、表示内容を回転するためのショートカットキーが割り当てられています。この機能を使用すれば、表示内容を簡単に回転できます。ただし、一部のWindowsのバージョンやグラフィックカードドライバでは、これらのショートカットキーの割り当てが異なっている場合や、サポートされていない場合があります。
- Windowsでは、以下のショートカットキーで表示内容を回転できます
 - 0°:Ctrl + Alt + 上向き矢印(↑)
 - 90°:Ctrl + Alt + 左向き矢印(←)
 - 180°:Ctrl + Alt + 下向き矢印(↓)
 - 270°:Ctrl + Alt + 右向き矢印(→)

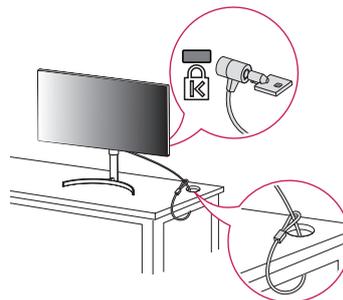
⚠ 警告

- ケーブルを接続したままモニターを回転させる場合は注意してください。
- モニターを回転する場合は、けがを防ぐため、モニターとスタンドベースの間に指を置かないでください。



ケンジントン (Kensington) ロックの使用

取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のホームページ (<http://www.kensington.com>) をご覧ください。

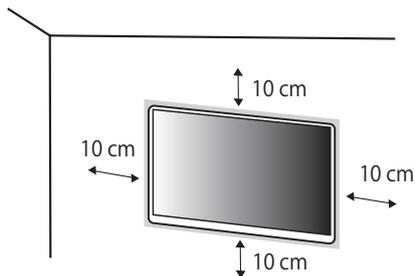


✔ ヒント

- ケンジントンロックはオプションです。お求めはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。

壁への取り付け

十分な通気性を確保するため、モニターの両側はそれぞれ壁から約10 cm空けてください。詳しい設置手順については、最寄りの代理店にお問い合わせください。傾斜付き壁掛けプレートの取り付け方法については、マニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合には、モニター背面に壁掛け金具（別売）を取り付けます。

壁掛け金具（別売）がモニターと壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

壁掛け金具を取り付ける

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。

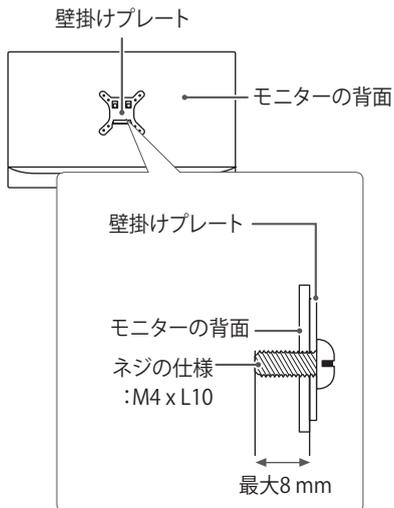
壁掛け	100 mm x 100 mm
標準ネジ	M4 x L10
必要なネジ	4

✔ ヒント

- VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。
- 壁掛け用キットには、設置ガイドと必要な部品が含まれています。
- 壁掛け金具は別売です。お求めはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ネジの長さは、壁掛け用ブラケットによって異なります。適合しないネジを使用すると、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
- 詳細については、壁掛け金具の取扱説明書を参照してください。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
ネジは標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- モニターを壁に設置する前に、スタンドの取り付け手順と逆の手順でスタンドを取り外してください。

⚠ 注意

- 最初に、電源コードを抜いてください。次に、モニターを移動または設置してください。感電のおそれがあります。
- モニターを天井や傾斜のある壁面に取り付けると、モニターの落下によって重大な事故に繋がる恐れがあります。設置については、販売店または資格を有する業者にご相談ください。
- けがをしないように、設置手順に従って本製品を壁にしっかり取り付けてください。
- ネジを留めるときに過剰力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。そのような損傷は製品保証の対象外です。
- VESA規格に準拠した壁掛け用プレートとネジを使用してください。不適切な付属品の使用、または誤った使用方法による損傷の場合は、本製品の保証の対象外です。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは8mmです。



モニターの接続

- 本書で使用されるイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

OSDジョイスティックボタンを押して[設定] → [入力]に進み、入力オプションを選択します。

⚠ 注意

- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 長時間同一の画像を表示させ続けると、画面に焼き付きが発生することがあります。画面の焼き付きについては保証の対象外になります。焼き付きを予防するために、OSでスクリーンセーバーを設定することをお勧めします。
- 電源コードをコンセントに接続する際は、アース付きマルチタップまたはコンセントをご使用ください。
- 温度が低い場所で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。

PCへの接続

- このモニターは* Plug and Play機能をサポートします。

* Plug and Play: PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PCで認識してOSの標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。



⚠ 注意

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc.で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
 - ハイスピードHDMI®/TM ケーブル
 - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/TM ケーブル

DisplayPort接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。



✔ ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像または音声に対応していないことがあります。
- 付属品のDisplayPortケーブルを使用してください。付属のケーブル以外を使用すると、誤作動の原因になることがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合は、DisplayPort 1.4に対応した Mini DisplayPort - DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。(ケーブル、コネクタは別売です) (別売り)

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器からモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

✔ ヒント

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc.で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
 - ハイスピードHDMI®/TM ケーブル
 - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/TM ケーブル

周辺機器の接続

USBデバイスの接続

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。

USBダウンストリーム端子に接続された周辺機器をPCで操作できます。



✔ ヒント

- Windowsは最新のアップデートプログラムを適用してから接続することをお勧めします。
- 周辺機器は別売りです。
- キーボード、マウスなどのUSBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。

ユーザー設定

✔ ヒント

- 実際のモニターのOSD(オンスクリーンディスプレイ)は、アップデート等により、本取扱説明書と多少異なる場合があります。

メインメニューの表示



- 1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックボタンを押します。
- 2 OSDジョイスティックボタンを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
- 3 OSDジョイスティックボタンをもう一度押すとメインメニューが終了します。

ボタン	メニューの状態	説明	
	メインメニュー非表示時	ナビゲーションOSDを表示します。	
	メインメニュー表示時	OSDメニューを終了します。 (OSDジョイスティックボタンを5秒以上押し続けるとモニターがオフになります。OSDが表示、非表示いずれの際も、この方法でモニターをオフにできます。)	
	◀	メインメニュー非表示時	ナビゲーションOSDを表示します。
		メインメニュー表示時	[入力]機能に移動します。
	▶	メインメニュー非表示時	ナビゲーションOSDを表示します。
		メインメニュー表示時	[設定]に移動し、モニターの各種設定を行います。
	▲	メインメニュー非表示時	現在の入力に関する情報を表示します。
		メインメニュー表示時	モニターをオフにします。
	▼	メインメニュー非表示時	現在の入力に関する情報を表示します。
		メインメニュー表示時	[ピクチャーモード]機能に移動します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
[入力]	表示させる入力端子を選択します。
[電源オフ]	モニターをオフにします。
[設定]	モニターの各種設定メニューを表示します。
[終了]	OSDメニューを終了します。
[ピクチャーモード]	ピクチャーモードを設定します。

Menu設定

- 1 OSDメニューを表示するには、モニター底面にあるOSDジョイスティックボタンを押し、[設定]を選択します。
- 2 OSDジョイスティックボタンを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
- 3 一つ前に戻るか、別のメニュー項目を設定するときは、OSDジョイスティックボタンを◀の方向へ倒すか、OSDジョイスティックボタン(🎮)を押します。
- 4 OSDメニューを終了する場合は、終了するまでOSDジョイスティックボタンを◀の方向へ倒します。



[クイック設定]



[入力]



[画質]



[全般]

✔ ヒント

- : オン
- : オフ

[クイック設定]

[設定] > [クイック設定]	説明
[明るさ]	画面の明るさとコントラストを調整します。
[コントラスト]	
[色温度]	色温度を設定します。([ユーザー設定], [6500K], [7500K], [9300K], [マニュアル])
[ユーザープリセット]	ユーザープリセットを使用すると、10個までの画質設定を保存し、接続されている複数のデバイスに読み込むことができます。 ✔ ヒント • ユーザープリセットを使用すると、[画質]メニューの[画像調整]と[カラー調整]の項目をインポートまたは保存できます。

[入力]

[設定] > [入力]	説明	
[入力選択]	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
[アスペクト比]	画面の縦横比を調整します。	
	[全画面]	映像信号の入力に関係なく画面全体に表示します。
	[オリジナル]	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
	[ジャストスキャン]	映像サイズを調整せず、映像の解像度でそのまま表示します。
	<p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> 推奨解像度 (3840 x 2160) の場合、[全画面]、[オリジナル]、[ジャストスキャン]のどのオプションを選択しても、見た目が変わらないことがあります。 	
[解像度を選択]	モニターの推奨解像度は、[8MP]、[6MP]、[4MP] に変更できます。	
[PBP]	複数の端子にデバイスを接続しているときに、2つの機器を同時に表示することができます。	
[メイン/サブ画面切替]	[PBP]モードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。	

[PBP]

[設定] > [入力]	説明			
[入力選択]	複数の端子にデバイスを接続しているときに、2つの機器を同時に表示することができます。			
[メイン画面入力選択]	使用可能なPBPの組み合わせについては、以下の表を参照してください。			
[サブ画面入力選択]				
	PBP接続		サブ画面(右)	
		HDMI	DisplayPort 1	DisplayPort 2
メイン画面(左)	HDMI	-	0	0
	DisplayPort 1	0	-	0
	DisplayPort 2	0	0	-
[アスペクト比]	画面の縦横比を調整します。			
[メイン画面アスペクト比]	[全画面]	映像信号の入力に関係なく、PBP画面のサイズに合わせて映像を表示します。		
	[オリジナル]	映像信号入力の画面サイズで、PBP映像に動画を表示します。		
[サブ画面アスペクト比]	[全画面]	映像信号の入力に関係なく、PBP画面のサイズに合わせて映像を表示します。		
	[オリジナル]	映像信号入力の画面サイズで、PBP映像に動画を表示します。		
[解像度を選択]	モニターの推奨解像度は、[8MP]、[6MP]、[4MP] に変更できます。			
[PBP]	1台のモニターで同時に2つの入力モードからの画像を表示する機能を無効にできます。			
[メイン/サブ画面切替]	[PBP]モードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。			

[画質]

✔ ヒント

- 設定できる[ピクチャーモード]はHDR (High Dynamic Range) 信号を表示している場合とSDR (Standard Dynamic Range=従来の映像) 信号の映像を表示している場合で異なります。

SDRの映像 (通常の映像) 表示時の[ピクチャーモード]

[設定] > [画質]	説明	
[ユーザー設定]	[画像調整]	で設定した色合いを表示します。
[鮮やか]		コントラスト、明るさ、シャープネスの値を高くすると、鮮明な画像を表示できます。
[HDR効果]		通常の映像 (SDR) を HDR に近い画質で表示します。
[ブルーライト低減モード]		画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで[明るさ]の調節ができます。
[Mono]		Mono (黒と白) カラーモード。
[病理学]		病理学モードをオンにします。顕微鏡を見ているかのような画像の鮮明度と精度。
[DICOM(臨床)]		画面設定を最適化して、医療用の画像を表示できるモードです。
[ピクチャーモード]	✔ ヒント	
[DICOM(診断)]		<ul style="list-style-type: none"> [DICOM(臨床)]および[DICOM(診断)]モードには、さまざまな明るさがあります。 [DICOM(ユーザー設定)]モードで画面の明るさを調整します。 [DICOM(臨床)]: 250 NITS (キャリブレーションの目標値) [DICOM(診断)]: 350 NITS (キャリブレーションの目標値)
[DICOM(ユーザー設定)]		
[キャリブレーション 設定1]		前回キャリブレーションした画面に合わせて調整します。
[キャリブレーション 設定2]		以前にキャリブレーションした画面に合わせて調整します。
	✔ ヒント	
		<ul style="list-style-type: none"> DP (DisplayPort) 接続時に[ピクチャーモード]を変更した際、映像が乱れたり、PCの解像度が変わってしまう場合があります。 [キャリブレーション 設定2]はキャリブレーション実行中に利用できます。

HDR信号の場合の[ピクチャーモード]

[設定] > [画質]	説明	
[ピクチャーモード]	[ユーザー設定]	[画像調整] で設定した色合いを表示します。
	[鮮やか]	HDR の映像をより鮮やかに表示します。
	[標準]	HDR 映像に最適化した画質で表示します。
<p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> OS (Windows 10) の設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。Windows 10のHDRに関する設定のオン/オフを確認してください。 グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真の表示品質が正常に表示されない場合があります。 グラフィックカードによっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、[入力]を変更したり電源をオンにした際に、画面が点滅したりちらつきが発生する場合があります。 		

[設定] > [画質]	説明									
[画像調整]	[明るさ]	<p>画面の明るさを調整します。</p> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • ▼ボタンを押すと、[Brightness Stabilizationをオンにする]と[Brightness Stabilizationをオフにする]を切り替えることができます。 • [Brightness Stabilization]が[オン]の場合、[明るさ]調整機能は無効になります。 • [Brightness Stabilization]が[オン]の場合、[SMART ENERGY SAVING]と[DFC]機能は無効になります。 • [ピクチャーモード]が[DICOM]に設定されているか、[ガンマ]が[DICOM ガンマカーブ]に設定されている場合、[明るさ]調整機能は無効になります。 • [ピクチャーモード]を[DICOM(ユーザー設定)]に設定すると、[明るさ]調整機能が有効になります。 								
	[コントラスト]	画面のカラーコントラストの強さを調整します。								
	[シャープネス]	画面のシャープネスを調整します。								
	[Brightness Stabilization]	<p>治療環境に適した明るさを維持する機能です。</p> <table border="1" data-bbox="440 546 1481 624"> <tr> <td data-bbox="440 546 592 582">[オン]</td> <td data-bbox="592 546 1481 582">明るさを自動的に調整します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 582 592 624">[オフ]</td> <td data-bbox="592 582 1481 624">この機能を無効にします。ユーザーが明るさを調整できます。</td> </tr> </table>	[オン]	明るさを自動的に調整します。	[オフ]	この機能を無効にします。ユーザーが明るさを調整できます。				
[オン]	明るさを自動的に調整します。									
[オフ]	この機能を無効にします。ユーザーが明るさを調整できます。									
	[SUPER RESOLUTION+]	<table border="1" data-bbox="440 630 1481 784"> <tr> <td data-bbox="440 630 592 666">[High]</td> <td data-bbox="592 630 1481 666">鮮明な画像を表示できるよう画面を最適化します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 666 592 702">[Middle]</td> <td data-bbox="592 666 1481 702">低モードと高モードの間の中間レベルの画像で、快適に表示できるように画面を最適化します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 702 592 738">[Low]</td> <td data-bbox="592 702 1481 738">滑らかで自然な画像を表示できるよう画面を最適化します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 738 592 784">[オフ]</td> <td data-bbox="592 738 1481 784">最も一般的な設定で表示します。[SUPER RESOLUTION+]を無効にします。</td> </tr> </table>	[High]	鮮明な画像を表示できるよう画面を最適化します。	[Middle]	低モードと高モードの間の中間レベルの画像で、快適に表示できるように画面を最適化します。	[Low]	滑らかで自然な画像を表示できるよう画面を最適化します。	[オフ]	最も一般的な設定で表示します。[SUPER RESOLUTION+]を無効にします。
[High]	鮮明な画像を表示できるよう画面を最適化します。									
[Middle]	低モードと高モードの間の中間レベルの画像で、快適に表示できるように画面を最適化します。									
[Low]	滑らかで自然な画像を表示できるよう画面を最適化します。									
[オフ]	最も一般的な設定で表示します。[SUPER RESOLUTION+]を無効にします。									
		<p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 解像度の低い映像を鮮明に表示する機能です。通常のテキストやデスクトップのアイコンなどを表示する場合、鮮明になりすぎることで、かえって見づらくなる場合があります。 								

[設定] > [画質]	説明		
[画像調整]	[ブラックレベル]	オフセットレベルを設定します (HDMIのみ)。 ・ オフセット:映像信号の基準として、これがモニターで表示できる最も暗い色です。	
		[High]	映像信号の情報をそのまま表示します。
		[Low]	暗い部分をより暗くして、シャープな色合いで表示されます。
	[DFC]	[オン]	画面に合わせて明るさを自動的に調整します。
		[オフ]	[DFC]機能を無効にします。
[応答速度]	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。 標準的な環境の場合は、[Fast]を使用することをお勧めします。動きが多い場合は、[Faster]を使用することをお勧めします。 [Faster]に設定すると、残像(オーバーシュート)が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。		
	[Faster]	応答速度を[Faster]に設定します。	
	[Fast]	応答速度を[Fast]に設定します。	
	[Normal]	応答速度を[Normal]に設定します。	
	[オフ]	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。	
[ブラックスタビライザー]	暗いシーンできれいに見えるように黒のコントラストを制御できます。 [ブラックスタビライザー]値を増やすと、画面の中間調の部分が明るくなります。(暗いゲーム画面で物体を簡単に見分けることができます)。 [ブラックスタビライザー]値を減らすと、中間調の部分が暗くなり、画面のダイナミックコントラストが増加します。		
[ユニフォミティ]	自動的に画面の明るさが均一になるように調節します。 ✔ ヒント ・ [ユニフォミティ]を有効にすると、画面が暗くなる場合があります。		
	[オン]	[ユニフォミティ]機能を有効にします。	
	[オフ]	[ユニフォミティ]機能を無効にします。	

[設定] > [画質]	説明			
[カラー調整]	[ガンマ]	ガンマ値を設定します。([ガンマ 1.8]、[ガンマ 2.0]、[ガンマ 2.2]、[ガンマ 2.4]、[ガンマ 2.6]、[DICOM ガンマカーブ]) ガンマ設定を高くすると、表示される画像が暗くなります。逆に低くすると、明るくなります。		
	[色温度]	色温度を設定します。		
		[ユーザー設定]	赤、青、緑 で設定したお好みの画質を表示します。	
		[6500K]	映像の色合いを、赤みのある6500Kの色温度に設定します。	
		[7500K]	映像の色合いを7500Kの色温度に設定して、赤と青の間の色調に設定します。	
		[9300K]	映像の色合いを、青みのある9300Kの色温度に設定します。	
		[マニュアル]	色温度を500K(ケルビン)単位で調整します。(9300Kは9500Kよりサポートされています。)	
	[赤]、[緑]、[青]	RGB ([赤]、[緑]、[青])それぞれの色合いを調整できます。		
	[6色相環]	6色相環(赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー)の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。		
		色合い	各色の色相を調節します。	
彩度		各色の彩度を調整します。値を低くすると、彩度が下がり、色は明るくなります。値を高くすると、彩度が上がり、色は暗くなります。		
[ピクチャーモード 初期化]	[映像設定を初期化しますか?]		[Yes] 色設定をデフォルトの設定に戻します。	
			[No] リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。	

[全般]

[設定] > [全般]	説明	
[言語]	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
[FOCUS VIEW]	On Screen Control をインストールし、[FOCUS VIEW] から、画面を最大の明るさに設定します。	
[SMART ENERGY SAVING]	輝度補償アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。	
	[High]	[SMART ENERGY SAVING]によって、より効率的に消費電力を抑えます。
	[Low]	[SMART ENERGY SAVING]によって、消費電力を抑えます。
	[オフ]	機能を無効にします。
	<p><input checked="" type="checkbox"/> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネの数値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。 [SMART ENERGY SAVING]の設定が[High]または[Low]になっている場合、映像ソースによって輝度が変化します。 	
[電源LED]	電源LED機能をオンにした場合の動作は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - 電源がオンのとき: 白色に点灯 - スリープモード時: 白く点滅 - 電源がオフのとき: オフ 	
[自動スタンバイ]	画面に長時間何の動きもない場合に自動的にモニターをオフにする機能。自動オフ機能のタイマーを設定できます。([8時間後]、[6時間後]、[4時間後] および [オフ])	
[ユーザープリセット]	ユーザープリセットを使用すると、10個までの画質設定を保存し、接続されている複数のデバイスに読み込むことができます。 <p><input checked="" type="checkbox"/> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザープリセットを使用すると、[画質]メニューの[画像調整]と[カラー調整]の項目をインポートまたは保存できます。 	
[スクリーンオフ]	スタンバイモードでのシステム動作を選択して、画面のみをオフにすることができます。	
	[オン]	スリープモードでのみ画面をオフにするように設定します。
	[オフ]	システムのスリープを設定し、スリープモードで画面をオフにします。

[設定] > [全般]	説明			
[DisplayPortバージョン]	DisplayPort 1	DisplayPortバージョンは、接続している外部デバイスと同じバージョンに設定してください。([1.4]、[1.2]、[1.1]) HDR機能を使用するには、[1.4]に設定します。		
	DisplayPort 2	DisplayPortバージョンは、接続している外部デバイスと同じバージョンに設定してください。([1.4]、[1.2]、[1.1]) HDR機能を使用するには、[1.4]に設定します。		
[HDMI ULTRA HD Deep Color]	接続しているデバイスが [HDMI ULTRA HD Deep Color] に対応している場合、より鮮明な画像が表示されます。			
	4K解像度の60 Hz表示のサポート形式			
	解像度	フレームレート (Hz)	カラー階調/クロマサンプリング	
			8ビット	10ビット
	3840 x 2160	59.94	YCbCr 4:2:0	
			YCbCr 4:2:2	
		60.00	YCbCr 4:4:4	-
RGB 4:4:4			-	
 ヒント				
<ul style="list-style-type: none"> • [HDMI ULTRA HD Deep Color]を使用するには、この機能をオンにします。 • デバイスが [HDMI ULTRA HD Deep Color] に対応していない場合、映像や音声に正常に動作しないことがあります。その場合は、この機能をオフに設定してください。 				
[Beep音]	この機能を使用すると、モニターの電源がオンになったときに、Beep音から発される音をオンまたはオフに設定できます。			
	[オン]	モニターのBeep音を有効にします。		
	[オフ]	モニターのBeep音を無効にします。		
[OSDロック]	設定可能な項目を制限します。			
[表示情報]	次の情報が表示されます：[シリアルナンバー]、[電源投入時間合計]、[解像度]、[PerfectLum シリアルナンバー]。			
[初期化]	[設定をリセットしますか?]	[Yes]	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。	
		[No]	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。	

トラブルシューティング

画面に何も表示されない。

問題	操作
モニターの電源コードは差し込まれていますか？	<ul style="list-style-type: none">電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうかを確認します。
電源LEDは点灯していますか？	<ul style="list-style-type: none">電源ケーブルの接続を確認し、電源ボタンを押します。
電源ランプが点滅している	<ul style="list-style-type: none">接続されている入力が有効であることを確認します ([設定] > [入力])。
画面に[信号が見つかりません。]と表示される。あるいは、画面が表示されていない	<ul style="list-style-type: none">このメッセージは、PCとモニターの間に信号ケーブルがない、または接続されていない場合に表示されます。ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
画面に[範囲超過]と表示される	<ul style="list-style-type: none">このメッセージは、PC(グラフィックカード)からの信号が、本製品の水平または垂直周波数範囲を超えている場合に表示されます。この取扱説明書の「製品仕様」を参照して、適切な周波数を設定してください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される。

問題	操作
画面がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> • 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース) の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。 • OS上で正しい解像度に設定してください。推奨される (最適な) 解像度でない場合、文字がぼやけたり、画面がかすれて表示される場合があります。 • 設定の手順は、お使いのPCまたはOSによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、PCまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
モニターの電源をオフにして残像が見える	<ul style="list-style-type: none"> • 静止画像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 • モニターを長時間使用する場合は、OSでスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。
画面上に小さな点が表示される	<ul style="list-style-type: none"> • モニターを使用しているとき、画面上にピクセル化されたスポット (赤、緑、青、白、黒) が表示されることがあります。これはLCD画面では正常です。これはエラーでもなく、モニターの性能にも関係しません。

一部の機能が無効になります。

問題	操作
OSD で設定できない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> • OSDがロックされています。[全般]で[OSDロック]を無効にします。

4K解像度が使用できません。

問題	操作
映像が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none">ケーブルが適切に接続されているか確認してください。本製品の付属品を使用することをお勧めします。
映像がぼやけるまたはちらつく	<ul style="list-style-type: none">接続機器 (PCやAV機器) の解像度とリフレッシュレートが適切に設定されているか確認してください。
4K解像度で表示されない	<ul style="list-style-type: none">接続機器が4K非対応の場合、4Kで表示することができません。機器が4K解像度出力に対応しているか確認してください。
[HDMI ULTRA HD Deep Color] 機能は有効になっていますか?	<ul style="list-style-type: none">[設定] > [全般] > [HDMI ULTRA HD Deep Color]の順に移動して、機能を有効にします。

製品仕様

製品の品質向上のため、製品仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

～記号は交流を、---記号は直流を表します。

LCD画面	タイプ	TFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) 画面	
	ピクセルピッチ	0.18159 mm x 0.18159 mm	
解像度	最大解像度	3840 x 2160 @ 60 Hz	
	推奨解像度	3840 x 2160 @ 60 Hz	
映像信号	水平周波数	30 kHz～135 kHz	
	垂直周波数	56 Hz～61 Hz	
入力コネクタ	USB IN 1, USB IN 2, USB UP, DP IN 1, DP IN 2, HDMI IN, DC-IN		
電源	電源定格	19 V --- 3.42 A	
	消費電力	最大65 W * スリープモード時: ≤ 0.5 W 電源がオフのとき: ≤ 0.3 W	
AC/DCアダプター	DA-65J19 タイプ、Asian Power Devices Inc. (APD) 製 入力: 100 - 240V ~ 50 - 60Hz, 1.5 - 0.7 A 出力: 19 V --- 3.42 A 感電防止の保管タイプの種類: クラスI		
環境条件	動作条件	温度	0～40 °C
		湿度	0 %～80 %
		気圧	700～1,060 hPa
	保管/輸送条件	温度	-20～60 °C
		湿度	0 %～85 %
		気圧	500～1,060 hPa

モニターサイズ		
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	スタンド装着時	718.2 x 590.0 x 231.2 (mm)
	スタンドなし	718.2 x 414.3 x 45.1 (mm)
重量	スタンド装着時	7.0 (kg)
	スタンドなし	5.6 (kg)

* 消費電力の動作モードは、LG Electronicsの試験基準によって測定されています。(フルホワイトパターン、最大解像度)

* 消費電力は動作環境やモニターの設定によって変わります。

対応モード(プリセットモード - PC)

DisplayPort / HDMI

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1152 x 864	54.347	60.05	+/+	
1200 x 1600	99.48	60	-/+	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 800	49.702	59.81	-/+	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1280 x 1440	89.58	60	-/+	
1440 x 1280	79.62	60	-/+	
1536 x 2048	127.26	60	-/+	
1600 x 900	60	60	+/+	
1600 x 1200	74.7	60	-/+	
1600 x 1800	111.9	60	-/+	
1800 x 1600	99.48	60	-/+	
1920 x 1080	67.5	60	+/+	
1920 x 2160	133.29	59.99	+/-	PBP (横表示)
2048 x 1536	95.52	60	-/+	
2160 x 1920	118.5	60	+/-	PBP (縦表示)
2560 x 1440	44.43	30	+/-	

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
2560 x 1440	88.79	59.95	+/-	
3200 x 1800	54.95	29.96	+/-	
3200 x 1800	111.82	59.96	+/-	
3840 x 2160 ¹⁾	67.5	30	+/+	
3840 x 2160 ¹⁾	135	60	+/+	[HDMI ULTRA HD Deep Color] が [オン] に設定されているとき/ HDMI を推奨します。
3840 x 2160 ²⁾	66.66	30	+/-	
3840 x 2160 ²⁾	133.32	60	+/-	DisplayPort 推奨

*1) HDMI の場合、2) DP の場合

対応モード (ビデオ)

垂直寸法	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480P	31.5	60
720P	45	60
1080P	67.5	60
2160P	135	60

電源インジケータ

モード	LEDの色
電源がオンのとき	白色に点灯
スリープモード時	白く点滅
電源がオフのとき	オフ

対応するグラフィックカードの一覧

ベンダー	グラフィックカード
NVIDIA	Quadro シリーズ
AMD	FirePro シリーズ



製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になった
ときのため、下記にご記入ください。

モデル

製造番号

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を
引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A